

御護摩祈祷

護摩の儀式の起源は、3000年以上昔のインドにまでさかのぼる。日本では、この神聖な炎の儀式は真言宗の中心的な(儀式)であり、一般的には不動明王に対して行われる。

参拝者の祈りと願いは、火を通じて不動明王に届けられる。御護摩は10世紀に反乱を鎮めるために行われて以来、毎日成田山新勝寺で行われてきた。大本堂で決められた時間に行われるこの儀式には、誰もが参加できる。